

# 参考人

presented by Round Table Communications

プレイ時間：30分  
プレイ人数：3~6人  
対象年齢：13歳以上  
問合せ先：sankounin@youngrat.jp

## 1 ゲーム コンテンツ

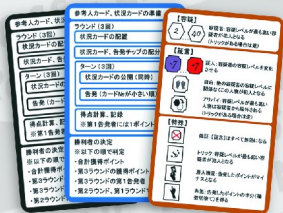


参考人カード 10枚  
赤、緑、橙、黄 各1枚  
青、紫、茶 各2枚

状況カード 32枚  
赤 3枚  
緑、橙 各4枚  
黄、紫、青 各5枚  
茶 6枚



参考人カードのアイコンは、その参考人が取りうる状況カードを示しています



リファレンスカード 6枚

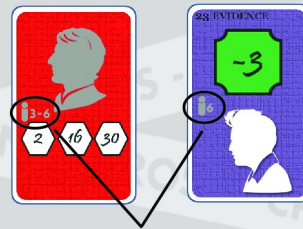
## 2 ゲームの目的

事件に絡む参考人たちの隠された状況を推理し、もっとも疑わしい人物を告発して下さい。  
ラウンドの初めに事件がセットアップされます。参考人たちは容疑者のことあれば事件の目撃者かもしれません。各プレイヤーは徐々に明かされる情報をもとに、告発すべき人物を決定することになります。  
ゲームは3回のラウンドで終了します。もっとも多くの告発ポイントを獲得したプレイヤーが勝利者です。

## 3 準備

### A ゲームの開始時

プレイヤーの人数に合わせて使用する参考人カードを選び、表向きでテーブルの中央に並べます。  
参考人カードと同じ色の状況カードも同様に選び、色ごとにまとめておきます。  
各プレイヤーはリファレンスカードを1枚ずつ受け取ります。  
残ったカードは使用しないので箱に戻します。



カードが使われる時のプレイヤー数  
(指定がない場合は常に使用する)

### B ラウンドごとの開始時

各色ごとに状況カードをシャッフルし、裏向きに1枚選び同じ色の参考人カードの下に置きます。  
残った状況カードをまとめてシャッフルし、各プレイヤーに4枚ずつ配ります。  
さらに残った1枚の状況カードは「隠匿された情報」として裏向きのままわきよけておきます。  
各プレイヤーはリファレンスカードと同じ色の告発チップを3個ずつ受け取ります。

### 3人プレイ時の準備例



参考人カードはプレイヤー人数に1を加えた枚数  
状況カードはプレイヤー人数の5倍に2を加えた枚数



## 4 ゲームの進行

各ラウンドの最初に「3 準備」のBに説明されたセットアップを行い、その後3回のターンを行います。各ターンは以下の2フェーズに分かれています。

### フェーズ1：状況カードの公開

各プレイヤーは手札の状況カードから公開する1枚のカードを決定します。全員の公開準備が整ったら、全員同時に状況カードを自分の前に表向きに置きます。

### フェーズ2：告発

公開された状況カードのカードNo.(左上の数字)が小さいプレイヤーから順番に、1個の告発チップを裏向きにいずれかの参考人カードの後方に置きます。この時チップを置いたプレイヤーの順番が分かるようにして下さい。

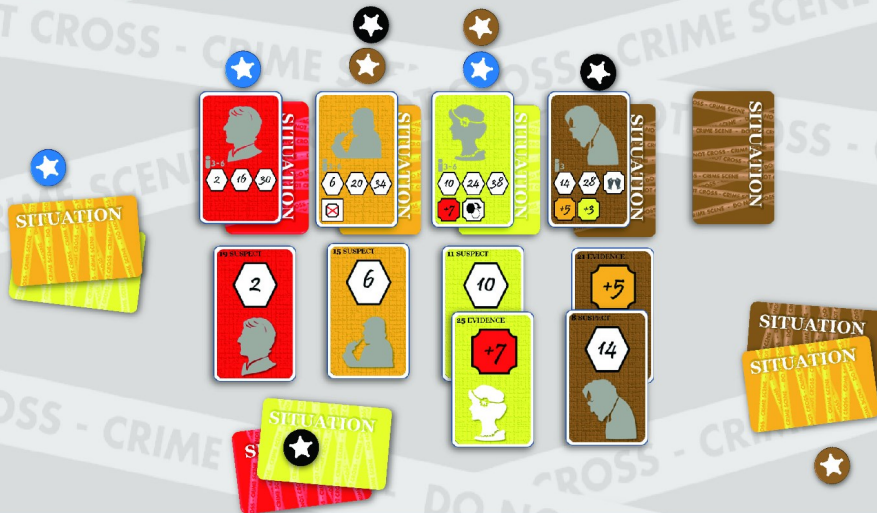
自分がすでに告発している参考人に対して追加の告発を行う場合は、先に置いた告発チップを重ねて置いて下さい。

告発チップを置いたら、自分の前の状況カードを同じ色の参考人カードの前方に置いて、次のプレイヤーの告発に移ります。

3回のターンが終了したら参考人カードの下に隠された状況カードをすべて表返して犯人を明らかにします。特殊な状況を除いて、容疑レベル(六角形のアイコンに記された数値)が最も大きい人物が犯人となります。

犯人を告発したプレイヤーは告発チップに記された数字を告発ポイントとして獲得します。また犯人を最初に告発したプレイヤーは、第1告発者ボーナスとして1ポイントを追加で獲得します。

### 進行中のゲーム状況(2ターン終了時点)



## 5 状況カードの説明



犯行の「容疑者」です。数値は容疑レベルを表します。全ての容疑者の中で容疑レベルが最も高い人物が犯人となります。ただし他の状況カードによって別の人物が犯人になることがあります。



事件の「証人」です。アイコンと同じ色の参考人が「容疑者」の場合、その容疑レベルにアイコンの数値を加えます。



犯行を「自白」しています。「偽証」が無ければ、この人物が犯人です。



ある容疑者の「アリバイ」を証言しています。最も容疑レベルの高い人物は容疑対象から外れます。ただし「トリック」がある場合は最も容疑レベルの低い人物が容疑対象から外れます。容疑レベルは「証人」による変化の後に判断します。



他の参考人の証言がすべて「偽証」だと見抜きました。すべての証言(「証人」、「自白」、「アリバイ」)は無効です。



「潜入捜査」を遂行している捜査官です。この人物への告発は、ペナルティとしてマイナスポイントとなります。



事件に「トリック」を仕掛けています。最も容疑レベルの低い「容疑者」が犯人です。ただし「アリバイ」証言が有効な場合は、容疑レベルが2番目に低い「容疑者」が犯人となります。



犯行の「共犯者」です。この人物への告発は、告発ポイントの半分(端数切捨て)を獲得します。また、この人物を最初に告発したプレイヤーは第1告発者ボーナスとして1ポイントを追加で獲得します。

シルエットの色が白の場合は決して犯人にはならない

## 6 勝利者の判定

3回のラウンド終了後、獲得した告発ポイントの合計が最も多いプレイヤーが勝利者です。同点の場合は第3ラウンドの獲得ポイント、それも同じ場合は第3ラウンドの第1告発者が勝利者になります。

第3ラウンドの結果で勝利者が決まらない場合は、同じ条件で第2ラウンド、第1ラウンドの結果で判定します。